

## 株主メモ

事業年度 2月1日から翌年1月31日まで

定時株主総会 毎年4月

期末配当金受領株主  
確定日 1月31日

中間配当金受領株主  
確定日 7月31日

公告の方法 電子公告により行う  
公告掲載URL <https://www.imura.co.jp>  
(ただし、電子公告によることができない事故、  
その他のやむを得ない事由が生じたときは、  
日本経済新聞に公告いたします。)

上場証券取引所 東京証券取引所 スタンダード市場

1単元の株式数 100株

株主名簿管理人  
特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社

同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部  
〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号  
電話 0120-094-777 (通話料無料)

### 株式に関する諸手続についてのご注意

1. 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合わせください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国本支店でもお取り扱いいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行全国本支店でお支払いいたします。



環境に配慮し、植物油インキを使用しております。

UD FONT 見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しております。



## 第74期 中間報告書

2023年2月1日 ▶ 2023年7月31日

### INDEX

- 1 株主の皆様へ
- 3 連結財務諸表
- 5 トピック
- 6 IMURA コラム
- 7 メモルダールお届けのご案内
- 9 株式の状況・所有者別状況
- 10 会社の概要・役員・事業所

証券コード3955

## 株主の皆様へ



代表取締役社長 井村 優

株主の皆様には、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

平素は格別のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

ここに第74期中間報告書をお届けするにあたり、ご挨拶を兼ね、事業の概況についてご報告申し上げます。

当社グループは、「潤創（じゅんそう）～社会と人生に潤いを創造する～」を新たな経営理念である「IMURA PHILOSOPHY STRUCTURE」の起点に掲げ、「変革とイノベーション（革新）により新たな成長軌道を実現し、企業価値の更なる向上を図ることにより全てのステークホルダーに最高の付加価値を提供する。」を基本方針とする3か年の中期経営計画「IMURA VISION 2030 Stage I」を2021年度よりスタートさせ、新生イムラの基盤づくりを、全社を挙げて進めております。

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴う経済活動の正常化やインバウンド需要により、総じて回復基調で推移いたしましたが、燃料費や原材料価格の高騰が、今後の企業活動や家計に及ぼす影響についても懸念されております。

一方で、当社グループの事業領域に影響を及ぼす郵便及びメール便の取扱数量は減少傾向が続いており、ダイレクトメール市場においては、「折込・DM郵便料（経済産業省公表）」の低下もあって、当社グループを取り巻く環境は不透明な状況で推移いたしました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、販売数量の低下に加え、コロナ禍収束による官需の減少もあり、110億21百万円（前年同期比2.1%減）となりました。損益面につきましては、減収や材料価格高騰の影響を固定費の抑制で吸収したことから、営業利益は9億92百万円（前年同期比0.5%減）、経常利益は10億53百万円（前年同期比1.8%減）となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては、投資有価証券売却益を計上する一方で、今期は子会社における固定資産除却損等の計上もあり、7億22百万円（前年同期比4.8%減）となりました。

株主の皆様におかれましては、何卒、今後とも引き続き変わらぬご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2023年10月

## パッケージソリューション事業

ワクチン接種券や統一地方選等の官需を中心としたスポット案件が下支えとなるものの、社会のデジタル化の進展を背景に、事務用封筒の減少やダイレクトメール用封筒の需要が低迷したことから、売上高は81億3百万円（前年同期比1.3%減）となりました。損益面では、原材料価格が上昇するものの、内製化推進による外注加工賃の抑制や固定費の減少により、営業利益は7億37百万円（前年同期比18.7%増）となりました。

## メーリングサービス事業

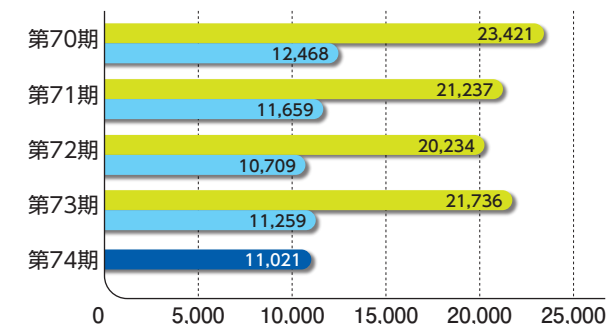
前期に受託した各種自治体向け大口案件の剥落の影響でサービス加工の売上が減少したことを主因に、売上高は20億67百万円（前年同期比4.4%減）となりました。損益面では、株主優待等のサービス受託に伴う商品仕入の増加で、売上総利益率が低下したこともあり、営業利益は2億14百万円（前年同期比41.1%減）となりました。

## その他

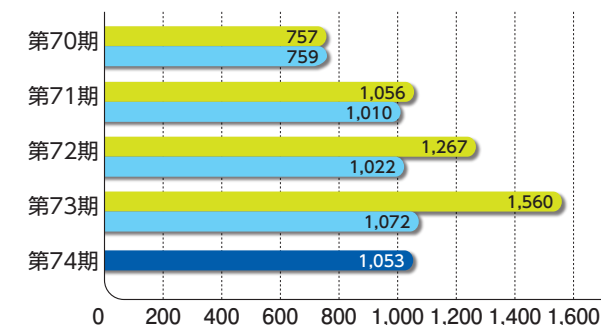
医療機関向け印刷物を手掛ける子会社の売上が回復するものの、封入機の製造販売を手掛ける子会社及び情報システム事業が減収となり、売上高は8億50百万円（前年同期比3.9%減）となりました。損益面では、医療機関向け印刷物を手掛ける子会社の生産機能のグループ内移管等、グループを挙げての構造改革への取り組みが奏功し、営業利益は35百万円（前年同期比308.7%増）となりました。

## 財務ハイライト(連結) ● 通期 ● 第2四半期 ● 当第2四半期

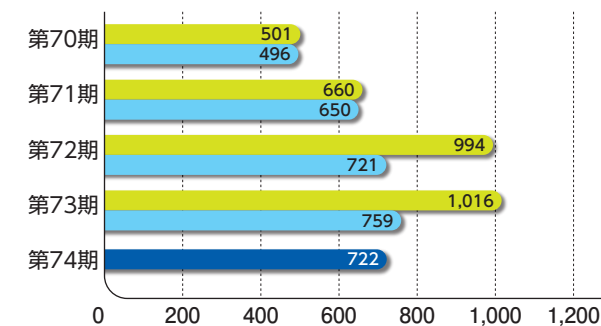
## 売上高(単位:百万円)



## 経常利益(単位:百万円)



## 親会社株主に帰属する純利益(単位:百万円)



連結財務諸表

連結貸借対照表 (単位: 百万円)

| 科 目            | 前期末<br>(2023年1月31日現在) | 当第2四半期末<br>(2023年7月31日現在) |
|----------------|-----------------------|---------------------------|
| 資産の部           |                       |                           |
| 流動資産           | 8,637                 | 9,375                     |
| 現金及び預金         | 2,764                 | 2,715                     |
| 受取手形、売掛金及び契約資産 | 3,249                 | 3,685                     |
| 電子記録債権         | 1,227                 | 1,103                     |
| たな卸資産          | 1,260                 | 1,681                     |
| その他            | 135                   | 190                       |
| 固定資産           | 11,033                | 11,432                    |
| 有形固定資産         | 8,469                 | 8,906                     |
| 建物及び構築物        | 1,374                 | 1,431                     |
| 機械装置及び運搬具      | 1,651                 | 1,785                     |
| 土地             | 4,572                 | 4,621                     |
| その他            | 871                   | 1,068                     |
| 無形固定資産         | 135                   | 133                       |
| 投資その他の資産       | 2,429                 | 2,392                     |
| 投資有価証券         | 1,107                 | 1,112                     |
| その他            | 1,321                 | 1,279                     |
| 資産合計           | 19,671                | 20,808                    |

資産の部

原材料価格の上昇に備えた在庫の積み増しによるたな卸資産の増加等により、資産合計は、前期末に比べて11億37百万円増加し、208億8百万円となりました。

(単位: 百万円)

| 科 目          | 前期末<br>(2023年1月31日現在) | 当第2四半期末<br>(2023年7月31日現在) |
|--------------|-----------------------|---------------------------|
| 負債の部         |                       |                           |
| 流動負債         | 3,826                 | 4,532                     |
| 支払手形及び買掛金    | 944                   | 945                       |
| 電子記録債務       | 939                   | 1,509                     |
| その他          | 1,942                 | 2,076                     |
| 固定負債         | 508                   | 508                       |
| 負債合計         | 4,335                 | 5,040                     |
| 純資産の部        |                       |                           |
| 株主資本         | 14,441                | 14,889                    |
| 資本金          | 1,197                 | 1,197                     |
| 資本剰余金        | 1,383                 | 1,389                     |
| 利益剰余金        | 12,309                | 12,734                    |
| 自己株式         | △ 450                 | △ 432                     |
| その他の包括利益累計額  | 842                   | 830                       |
| その他有価証券評価差額金 | 339                   | 374                       |
| 退職給付に係る調整累計額 | 503                   | 455                       |
| 新株予約権        | 37                    | 33                        |
| 非支配株主持分      | 14                    | 15                        |
| 純資産合計        | 15,335                | 15,768                    |
| 負債純資産合計      | 19,671                | 20,808                    |

負債の部

電子記録債務の増加等により、負債合計は前期末に比べて7億5百万円増加し、50億40百万円となりました。

純資産の部

利益剰余金の増加等により、純資産合計は前期末に比べて4億32百万円増加し、157億68百万円となりました。

連結損益計算書 (単位: 百万円)

| 科 目              | 前第2四半期<br>(2022年2月 1 日から<br>2022年7月31日まで) | 当第2四半期<br>(2023年2月 1 日から<br>2023年7月31日まで) |
|------------------|-------------------------------------------|-------------------------------------------|
| 売上高              | 11,259                                    | 11,021                                    |
| 売上原価             | 8,100                                     | 7,856                                     |
| 売上総利益            | 3,158                                     | 3,165                                     |
| 販売費及び一般管理費       | 2,161                                     | 2,173                                     |
| 営業利益             | 997                                       | 992                                       |
| 営業外収益            | 83                                        | 68                                        |
| 営業外費用            | 8                                         | 7                                         |
| 経常利益             | 1,072                                     | 1,053                                     |
| 特別利益             | 64                                        | 82                                        |
| 特別損失             | 11                                        | 48                                        |
| 税金等調整前四半期純利益     | 1,124                                     | 1,087                                     |
| 法人税、住民税及び事業税     | 325                                       | 320                                       |
| 法人税等調整額          | 39                                        | 43                                        |
| 四半期純利益           | 759                                       | 723                                       |
| 非支配株主に帰属する四半期純利益 | 0                                         | 0                                         |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 759                                       | 722                                       |

売上高は減少となったものの、収益性を重視した各種販売施策が奏功したことで、売上総利益率が上昇したことから、売上総利益は前期比6百万円増の31億65百万円となり、営業利益、経常利益はほぼ前年並みの9億92百万円、10億53百万円となりました。

連結キャッシュ・フロー計算書 (単位: 百万円)

| 科 目              | 前第2四半期<br>(2022年2月 1 日から<br>2022年7月31日まで) | 当第2四半期<br>(2023年2月 1 日から<br>2023年7月31日まで) |
|------------------|-------------------------------------------|-------------------------------------------|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | △156                                      | 987                                       |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △215                                      | △733                                      |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △686                                      | △306                                      |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | △0                                        | △0                                        |
| 現金及び現金同等物の増減額    | △1,058                                    | △53                                       |
| 現金及び現金同等物の期首残高   | 3,861                                     | 2,636                                     |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 2,802                                     | 2,583                                     |

営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動による資金の収入は9億87百万円となりました。これは主に、資金増加の要因として税金等調整前当期純利益10億87百万円、仕入債務の増加5億41百万円、資金減少の要因として棚卸資産の増加4億20百万円、売上債権の増加2億73百万円によるものです。

投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動による資金の支出は7億33百万円となりました。これは主に、資金の増加要因として投資有価証券の売却による収入1億1百万円、資金の減少要因として有形固定資産の取得による支出7億92百万円によるものです。

財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動による資金の支出は3億6百万円となりました。これは主に、配当金の支払2億99百万円によるものです。

■配当金について

当期の中間配当につきましては、当初の予定通り見送らせていただくこととなりました。

## 全日本DM大賞、2年連続受賞について

日本郵便株式会社が主催する「第37回全日本DM大賞」において、銅賞を受賞しました。  
 昨年の金賞グランプリ受賞に続き、2年連続受賞となります。

### 【2023年度 受賞作品紹介】



作品名 「体験」で理解を深めるワンランク上の  
 ゴールドカード入会促進DM  
 広告主 株式会社クレディセゾン

制作のポイント  
 すごく型のボードゲームを通じて、ゴールドカードの具体的な利用シーンを自分の「体験」としてイメージ出来るよう工夫しました。

入選  
 作品名 "レスポンス10%超え"達成!  
 需要喚起販売促進DM  
 広告主 株式会社新潟味のれん本舗

入選  
 作品名 驚異&予想外の長期レスポンス!  
 輝く優秀営業マンDM  
 広告主 株式会社イムラ



■銅賞／「体験」で理解を深めるワンランク上のゴールドカード入会促進DM

### 【2022年度 受賞作品紹介】



作品名 認知拡大&新規獲得! to B向けカフェ風DM  
 広告主 株式会社イムラ



### ■本件についてのお問い合わせ先

メーリングソリューション第一部 マーケティング&クリエイティブ課  
 TEL:03-5419-2262 【対応時間】9:00～17:30(土日祝除く)  
<https://www.imurato.jp/inquiry/>

### ※「全日本DM大賞」とは

全日本DM大賞は、DMの企画・表現技術の向上及び広告メディアとしての役割・効果の紹介を図るとともに、DMというメディアが広く認知され、多くの方に親しまれる存在となることを目的に、日本郵便株式会社が選出するアワードです。

## コミュニケーション上手な 生きものたち

第1回



動植物たちも、  
 さまざまな方法で  
 仲間たちとコミュニケーションを取っていることが  
 長年の研究で解明されています。  
 新コラムでは、生きものたちの驚くべき  
 コミュニケーション術をご紹介します。  
 第1回は、魅惑的なザトウクジラの歌です。

### “歌う”クジラ

イルカやクジラが「エコーロケーション」という超音波を使って情報のやりとりをしていることはよく知られていますが、とりわけ多くの研究者たちを魅了してきたのが、美しく神秘的な旋律ゆえに「歌」と称されたザトウクジラの声です。

歌うのはオスだけと考えられていますが、なぜ歌うのかについては、大きく2つの仮説があります。ひとつは、一番長く独創的な歌を歌ったオスが他のオスを撃退できるというもの。もうひとつは、一番素敵な歌を歌ったものがメスにとって一番魅力的なオスになるということです。短い音を組み合わせたフレーズが、更に組み合わせられてテーマとなり、そのテーマ

のいくつかで構成されたものが歌となっていますが、何ヶ月も同じ歌を歌っているかと思えば、毎年の繁殖期に新たなフレーズを追加するなど少しずつメロディーを変えています。他のオスが歌を模倣することもあるそうで、最新の研究においては驚くべきことに、ザトウクジラの歌が2～3年のうちに、ひとつの集団から数千キロ先の別の集団に伝わっていたことが分かっています。

海洋生物学者のフィリップ・クラファム氏が「おそらく動物界で最も複雑な歌」と形容したザトウクジラの歌は、1977年に打ち上げられた無人惑星探査機ボイジャー号に、異星人向けメッセージとして搭載したレコードにも収録されました。ザトウクジラの歌は動画配信もされていますので一度神秘的な歌を聴いてみませんか。

〈参考資料〉『月に歌うクジラ』（ダイアン・アッカーマン著／筑摩書房）  
 『GLOBE+』（朝日新聞社）

## メモルダーお届けのご案内

お申込みはがきを  
ご返送いただいた株主の皆様へ

# 2024年版 メモルダーを お届けいたします

株主様の日頃のご支援に感謝し、今年も当社オリジナル商品のポケット付きカレンダー「メモルダー」をお届けいたします。お好きなメモルダーをお届けいたしますので、同封のお申込みはがきにてご希望の商品番号をお知らせください。「メモルダー」のお届けは、7月31日現在の株主名簿に記載または記録された**1単元(100株)以上ご所有、かつお申込みはがきをご返送いただいた株主様に限らせていただきます**。何卒ご了承くださいますようお願い申し上げます。

### お申込み方法

1単元(100株)以上ご所有の株主様には、お申込みはがきを同封しておりますので「お名前」「電話番号」「株主番号」「メールアドレス(任意)」「ご希望の商品番号(1～5の中から1点)」をご記入のうえ、ご返送ください。

#### ■お申込み受付期限

2023年10月末日(当社到着分)

#### ■お届け

2023年12月上旬の予定

はがきのご返送がない場合はお送りいたしませんので、何卒ご了承くださいますようお願い申し上げます。なお、お申込み時に特にご指定のない場合は[1.実用メモルダー]をお届けいたします。

商品番号  
**1**

## 実用メモルダー

人気のスタンダードタイプ



見開きサイズ：245×443mm

ポケット数：12枚

カラーユニバーサルデザイン認定製品<sup>※1</sup>

※1.色覚の多様性に配慮し、平日と休日の区別がしやすいよう、色づかいを工夫しています。

商品番号  
**2**

## クラフトメモルダー

クラフト調の壁かけタイプ



見開きサイズ：245×443mm

ポケット数：12枚

商品番号  
**3**

## 花メモルダー

季節感のある壁かけタイプ



見開きサイズ：270×522mm

ポケット数：12枚

商品番号  
**4**

## 卓上メモルダー

実用性が高い卓上タイプ



サイズ：185×138mm

ポケット数：13枚(有効数12枚)

カラーユニバーサルデザイン認定製品<sup>※1</sup>

商品番号  
**5**

## ナチュラル卓上カレンダー

環境配慮の卓上タイプ



サイズ：185×138mm

ポケット数：13枚(有効数12枚)

株式の状況・所有者別状況

株式の状況 (2023年7月31日現在)

|                            |             |
|----------------------------|-------------|
| 発行可能株式総数                   | 38,000,000株 |
| 発行済株式の総数（自己株式 697,753株を含む） | 10,729,370株 |
| 株主数（前期末比505名減）             | 2,520名      |

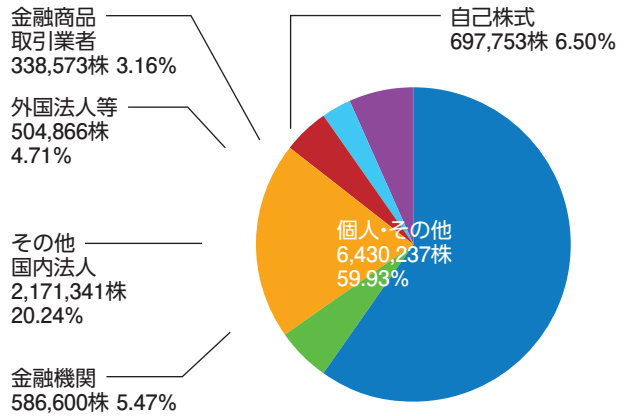
大株主

| 株主名                       | 持株数(株)  | 持株比率(%) |
|---------------------------|---------|---------|
| イムラ社員持株会                  | 641,852 | 6.39    |
| 井村 優                      | 452,500 | 4.51    |
| 有限会社ケイ・アンド・アイ<br>コーポレーション | 385,250 | 3.84    |
| 有限会社アイ・エム興産               | 358,750 | 3.57    |
| 井村 美和                     | 318,000 | 3.16    |
| 井村 光一                     | 304,800 | 3.03    |
| 井村 達男                     | 302,000 | 3.01    |
| 日本紙パルプ商事株式会社              | 300,000 | 2.99    |
| 井村 守宏                     | 279,300 | 2.78    |
| 井村 美保子                    | 272,500 | 2.71    |

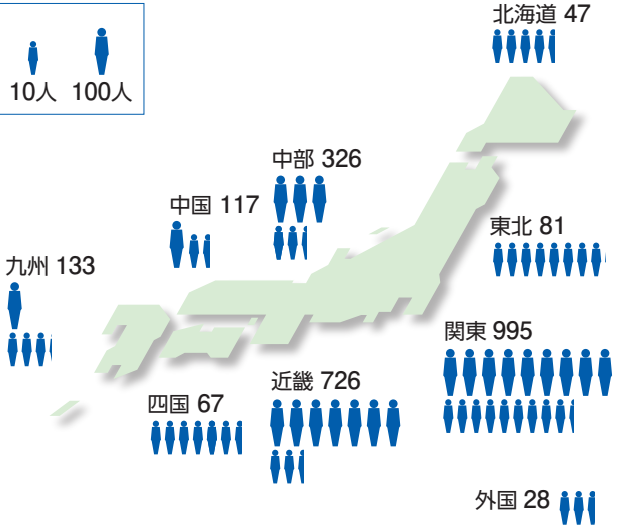
(注) 1.当社は自己株式697,753株を保有していますが、上記大株主からは除いております。  
2.持株比率は自己株式数(697,753株)を控除して算出しております。

所有者別状況 (2023年7月31日現在)

所有者別分布表



地域別分布表

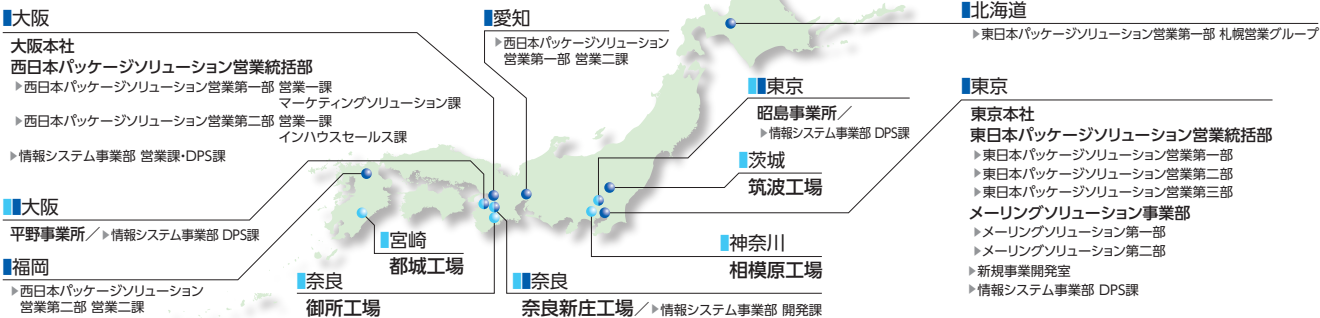


会社の概要・役員・事業所

会社の概要 (2023年7月31日現在)

|      |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
|------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 商号   | 株式会社イムラ (英文名:IMURA & Co., Ltd.)                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
| 本店   | 〒542-0076 大阪市中央区難波五丁目1番60号 なんばスカイオ18階<br>電話(06)6586-6121(代表)                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |
| 創業   | 大正7年7月                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |
| 設立   | 昭和25年2月                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |
| 資本金  | 1,197,986,033円                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
| 事業内容 | 1.封筒、袋などの紙製品、文具の製造、販売及び事務用品、日用雑貨品の販売<br>2.不織布、合成樹脂シートを素材とする封筒、袋類、建築・造園資材の製造、販売<br>3.印刷物などの物品の保管、封入、包装、梱包及び発送業務の代行<br>4.倉庫業<br>5.印刷、封入及び包装用機械の企画、研究開発、製造、販売及び輸出入<br>6.ダイレクトメールの発送及び請求書の発行等に関する情報処理業務の受託<br>7.広告代理業務<br>8.コンピュータ及び周辺機器、事務用機器の販売、教育指導及び保守管理<br>9.コンピュータソフトウェアの企画、開発、制作、販売及び保守管理<br>10.インターネットへの接続サービス業務<br>11.電気通信工事業<br>12.医療用事務機器及び資材の販売<br>13.セミナーの企画、立案、制作、斡旋及び運営<br>14.前記各号に付帯する一切の業務 |
| 従業員数 | 連結 762名 単体 681名 (2023年7月31日現在)                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
| 子会社  | 東杏印刷株式会社 株式会社メトロテック 株式会社イムラプリンティング<br>株式会社ロジテック                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |

事業所



役員 (2023年7月31日現在)

|                          |       |
|--------------------------|-------|
| 代表取締役社長<br>最高経営責任者(CEO)  | 井村 優  |
| 代表取締役副社長<br>最高執行責任者(COO) | 瀧口 斉  |
| 取締役専務執行役員                | 吉川 伸昭 |
| 取締役執行役員                  | 和田 寿一 |
| 取締役相談役                   | 井村 守宏 |
| 社外取締役                    | 白田 敬  |
| 社外取締役                    | 城谷 満江 |
| 常勤社外監査役                  | 知念 等  |
| 社外監査役                    | 山田 拓幸 |
| 社外監査役                    | 清水 健一 |
| 上席執行役員                   | 炭家 裕之 |
| 上席執行役員                   | 森田 旭  |
| 上席執行役員                   | 松本 哲明 |
| 執行役員                     | 奥谷 勇二 |
| 執行役員                     | 中塚 陽  |
| 執行役員                     | 清田 隆利 |
| 執行役員                     | 田村 哲也 |
| 執行役員                     | 伊東 慶太 |